

南アルプス市 平成 23 年度

## 事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

22年度事業 事後評価

事務事業名	滝沢川クリーン事業			□ 実施計画事業	所属部局	市民部		単位番号	4093												
					所属課室	環境課		課長名	深澤政樹												
					所属担当	ごみ減量推進化担当		担当者名	小笠原良仁												
基本政策	基本 計 画 体 系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり			予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目								
		20	快適生活環境の整備				01	一般	0	4	0	2	0	1	0	2	0	0	5		
		33	生活環境の保全				事業区分		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業										
事業期間		<input type="checkbox"/> 单年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 单年度繰返 (開始年度 不明 年度)					<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業												
		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業												
							<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金														
事務事業の概要	事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載					事業費の主な内訳（22年度）															
	徳島堰から、滝沢川に流れ込む水路のごみを除塵機によって、年間を通じて清掃を行う委託業務。ごみの詰まりによる水害を防ぐことを目的とする。 ○除塵機は、河川内に設置されており、定期的に委託業者が蓄積したごみを除去している。					項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)												
					修繕費	32															
					施設維持管理委託料	504															

## 1 現状把握(DO)

## (1) 事務事業の目的と指標

(1) 活動	
22年度活動実績	河川内のごみを集積する除塵機の管理委託 ※ごみの除去
23年度活動予定	継続的に実施。
(2) 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
徳島堰及び滝沢川	
(3) 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
河川のごみを除去することによって、河川の美化を保つ。	
(4) 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
環境美化	

(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない		
	名称	単位
ア	除塵機設置箇所	箇所
イ		
ウ		
(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない		
	名称	単位
ア	河川数	箇所
イ		
ウ		
(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない		
	名称	単位
ア	収集・処分数回	回
イ		
ウ		
(8) 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない		
	名称	単位
ア	収集量	kg
イ		

## (2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円						
	事業費	事業費計 (A)	千円	534	504	536	534	534	534
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10
		人件費計 (B)	千円	45	45	40	40	40	0
		(A)+(B)	千円	579	549	576	574	574	0
	活動指標	ア 箇所		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		イ							
		ウ							
	対象指標	ア 箇所		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		イ							
		ウ							
	成果指標	ア 回		199.0	199.0	199.0	199.0	199.0	199.0
		イ							
		ウ							
	上位成果指標	ア kg		871.0	513.0	600.0	600.0	600.0	600.0
		イ							

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	旧柳町時代より継続的に実地し、河川の美化に努めている。開始年度については、不明。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	河川に廃棄されたごみは後を絶たない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特にない。

#### (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	河川の美化に関する計的な経費。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特にない。

事務事業名	滝沢川クリーン事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 滝沢川へのごみ流入を防ぐことにより、河川の美化活動となっている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 河川美化のために、設置されている設備。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 、河川の美化に繋がる事業である。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 この管理業務委託事業は、エコ協業組合と委託契約となっている。エコ協業組合は、市内の収集運搬業者7社による組合となっている。他の業者への委託契約は困難である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 一般廃棄物収集運搬事業として集約できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 河川の環境が悪くなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 河川が汚れる。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 収集運搬については、許可が必要であり、業者対応となる。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 この事業に係る職員の数・時間は、最低限度となっている。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 関係箇所だけの事業と思えるが、上流から下流までの河川ごみの回収となっている。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 河川の美化・保全にとって重要な事業。なお、この事業は、河川管理部門が対応する事業ではないか？
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)
(2) 改革改善案について	コスツ水準
①類似事業として、一般家庭可燃ごみ・不燃ごみ収集運搬事業、粗大ごみ収集運搬事業と統合できる。	削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/>
②	成績維持 <input type="checkbox"/> 水準低下 <input type="checkbox"/>
③	
※ 廃止・休止の場合は記入不要	
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果
①予算科目の見直し	成果優先度評価結果
②	
③	
	コスト削減優先度評価結果
	⑥